



CREATING A PROSPEROUS
FUTURE TOGETHER
WITH KYUSHU



中間期ミニディスクロージャー誌兼
営業の中間ご報告

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日



Kyushu FG

九州フィナンシャルグループ



HigoBank

肥後銀行



Kagoshima Bank

鹿児島銀行



豊かな未来のために。これからも、ともに。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

九州フィナンシャルグループは、おかげさまで、本年10月に2周年を迎えました。これもひとえに、皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、平成29年度上期の国内経済は、海外景気の緩やかな回復等を背景に、輸出及び生産が持ち直しました。また企業収益が高水準で推移する中、雇用情勢・所得環境が改善し、個人消費が緩やかに持ち直すなど、全体として緩やかな回復基調が続きました。

一方、人口減少や長引く低金利など地方銀行を取り巻く金融経済環境は、依然厳しい状況が続いております。

このようななか、当社は、第1次グループ中期経営計画の基本方針である「お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築」に向け、「総合金融力」、「ブランド力」、「組織運営力」の3つの経営基盤を軸に着実に統合効果を創出してまいりました。

平成30年1月には、地域の皆様の多様化する資産運用ニーズにワンストップでお応えするため、より専門性の高い金融商品・サービス提供の機能を兼ね備えた「九州FG証券株式会社」を開業する予定です。

肥後銀行グループと鹿児島銀行グループ、そして新たに加わる証券子会社の知見やノウハウの結集によるグループ機能の強化を通じて、さらなる企業価値の向上を図り、地域の皆様のより豊かな未来を創出するべく地方創生の支援に努めてまいります。今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月吉日 株式会社九州フィナンシャルグループ

代表取締役会長
甲斐 隆博



代表取締役社長
上村 基宏



Management philosophy

グループ経営理念

わたしたち九州フィナンシャルグループは、持続可能な成長の実現に向け、

以下の3つの理念を柱として、みなさまから真に愛される総合金融グループを目指します。

1. お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融サービスを提供します。
2. 地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積極的に貢献します。
3. 豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

Company Profile

会社概要 (平成29年9月末現在)



九州フィナンシャルグループ

株式会社 九州フィナンシャルグループ

本店所在地(登記上の住所) 鹿児島県鹿児島市金生町6番6号

本社所在地(本社機能) 熊本県熊本市中央区練兵町1番地

代表者 代表取締役会長 甲斐 隆博(肥後銀行 取締役頭取)
代表取締役社長 上村 基宏(鹿児島銀行 取締役頭取)

資本金 360億円

設立日 平成27年10月1日

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所本則市場

証券コード 7180



株式会社 肥後銀行

創立 大正14年7月25日

資本金 181億円

本店所在地 熊本県熊本市中央区練兵町1番地

店舗数 123か店
本支店 118・出張所 4・海外駐在員事務所 1

従業員 2,326人



株式会社 鹿児島銀行

創立 明治12年10月6日

資本金 181億円

本店所在地 鹿児島県鹿児島市金生町6番6号

店舗数 152か店
本支店 113・出張所 11・代理店 27
海外駐在員事務所 1

従業員 2,281人

地域と私たちの 持続的な成長に向けて 九州FGの取り組み



豊かな自然の恵みを次世代へ残す

豊かな自然の恵みは、ふるさとの宝であり、豊かな未来を創る礎となります。各行では、その宝を守り、次世代に継承していくための取り組みを長年にわたり行っています。肥後銀行では、水源涵養林の保全・育成のための植樹活動および地下水保全のための水田湛水事業に、また、鹿児島銀行では、鹿児島県との「かごしま環境パートナーズ協定」にもとづき、「環境を育む企業の森林づくり事業」に参画し、「九州森の日植樹祭」への参加や間伐実施による県有林の整備にそれぞれ取り組むなど、継続した環境保全活動を行っております。



◀ 水田湛水事業の一環としての田植え

環境を育む企業の森林づくり事業 ▶



Environment

わたしたち九州フィナンシャルグループは、地域とともに成長しながら、社会に豊かな実りをもたらす存在でありたいと願っています。

豊かな社会は、企業価値を持続的に向上させ、さらなる地域社会の発展に貢献するものと考え、わたしたちは、環境、社会等に関する課題に、継続して取り組んでおります。



地域社会の未来を見据えて

地域の皆様の豊かな未来の実現を目指し、地域行事への参加、スポーツ・文化イベントへの協賛、社会福祉に資する取り組みのほか、子ども向けの「お金の教室」や学生向けのインターンシップ、地方創生に向けた大学との連携等未来を担う若手育成に取り組むなど、中長期にわたる地域社会活性化のお手伝いを積極的に行っております。

また、グループ内においても、従業員一人ひとりが生き生きと働ける職場環境づくりのための働き方改革（一定時間以降の残業を禁止など）や男性の育児休暇促進などワークライフバランスの実現や、事業所内保育所の設置、女性活躍推進の取り組みなどを各行積極的に行っております。



日本政策金融公庫との「働き方改革」に関する意見交換会（肥後銀行）▶

◀ 県内大学等8校との「地方創生への取り組みに関する連携協定」締結（鹿児島銀行）



Society

KyushuFG NEWS FLASH

九州とともに、豊かな未来へ。



九州フィナンシャルグループ

お客様の事業課題解決に向けて

商談会の開催

お客様の販路拡大、仕入先開拓支援を目的に、肥後銀行・鹿児島銀行のネットワークを相互活用した商談会を国内外で開催しております。



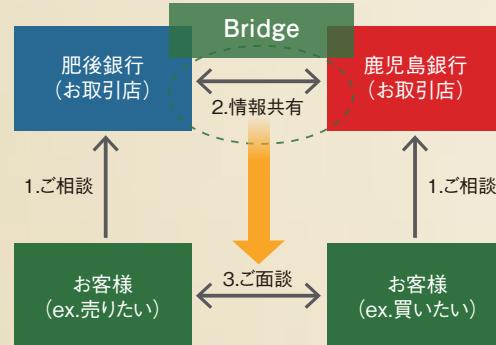
福岡市で開催した個別商談会



FBC上海2017ものづくり商談会

グループ間ビジネスマッチングシステム「Bridge」の運用開始

お客様の課題解決をご支援するためのコンサルティングツールとして、ビジネスマッチングシステム「Bridge」の運用を開始いたしました。お客様の販路拡大、商材調達、事務効率化、経費削減等のニーズを肥後銀行・鹿児島銀行両行で共有し、橋渡しをすることで、グループ一体となって、お客様のご要望にお応えしてまいります。



各種サービスの展開

お客様の利便性向上に向け、協働で取り組んでいます。

ATM相互入金サービス

鹿児島銀行カードで肥後銀行のATMから、肥後銀行カードで鹿児島銀行のATMから、預金口座への入金とカードローンの返済が相互にできるようになりました。

詳しくは、ホームページまたは窓口でご確認ください。

スマートフォン決済アプリ「PayB」まもなく導入

公共料金や税金、通信販売等の各種お支払いで使用されている払込票のバーコードをスマートフォンのカメラ機能で読み取り、預金口座からリアルタイムでお支払いいただけるサービスです。“いつでも”“どこでも”“簡単に”払込票のお支払い手続きが可能になります。肥後銀行、鹿児島銀行両行において、平成30年3月にサービス開始予定です。

九州FGデザインのATMが誕生

福岡市内3か所のドラッグコスモス店内に設置されている鹿児島銀行ATMデザインが九州FG仕様になりました。



人材交流の積極的展開

人材育成の強化と相互理解の促進、グループ一体感の醸成を目的とした共同研修のほか、互いの強みやノウハウ、風土に関する相互理解を深め組織力強化につなげることを目的に、両行の行員を相手行に出向させる人材交流を設立初年度から継続して実施しています。これまでに合計110名の行員が交流し、統合効果の創出に貢献しています。



新入行員合同研修



人材交流者の意見交換会



窓口機能とATMを搭載した車内

宇城市三角町・不知火町方面、県内13か所の仮設団地を巡回します。巡回場所やスケジュールは肥後銀行ホームページでご確認ください。



移動店舗車「HarmoniCar」運行開始

平成29年10月より、移動店舗車「HarmoniCar（ハモニカー）」の運行を開始しました。

本車両は、お客様の利便性向上と災害発生時のBCP対応を目的として導入するもので、店舗の少ない地域や仮設団地など、さまざまな場所で金融サービスを提供します。また、災害発生時には、ATMでの現金供給や搭載発電機による電源供給など、緊急対応車両として地域の皆様にお役立ちします。

「2017くまもと地域振興フェア」で“熊本の魅力”を国内外に発信

平成29年10月、「2017くまもと地域振興フェア」を開催しました。昨年に引き続き2回目の開催となった本フェアには、食や農産物、観光資源、産業技術などを取り扱う約90社の企業や団体が出展したほか、被災した熊本城の映像をVRで体験できるコーナーなどが設けられ、熊本地震からの創造的復興に向け進む熊本の魅力を、国内外に発信しました。



県産の野菜で表現した高さ3mの熊本城



特殊詐欺被害の防止態勢を強化

全国的に多発している振り込め詐欺からお客様の大切なご預金をお守りするための取り組みとして、平成29年8月より、一定の条件に該当するお客様を対象に、キャッシュカードの1日あたりの支払上限額を30万円に制限しています。

対象のお客様 下記①②の両方に該当するお客様

①70歳以上の方 ②過去1年間キャッシュカードで1日あたり30万円超の支払取引がない方

この取り組みにより特殊詐欺被害防止に貢献したとして、熊本県警より感謝状を受贈しました。



熊本県警より感謝状を受贈



ロビー写真

カノコユリ窓写真



川内支店リニューアルオープン

平成29年5月、川内支店（鹿児島県薩摩川内市）をリニューアルオープンしました。新店舗のロビー天井には薩摩川内市の観光名所等のパネルを装飾し、窓には市花の「カノコユリ」をあしらうなど地域の特徴にあわせた店舗デザインとなっています。また、キッズコーナーやバリアフリー設備を充実させ、お客様により快適にご利用いただける店舗となりました。

インターンシップ「かぎんとつくる地方創生プロジェクト」の実施

学生の地方創生に対する意識向上を図るため、1泊2日のインターンシップを開催しました。31名の大学生が参加し、地域活性化に向けた企画の立案や新しいビジネスのアイデアを考えるグループワークなどを行いました。学生からは「地域の課題や解決策を考えることの重要性を認識した」と、満足度の高いインターンシップとなりました。



グループワーク発表の様子

参加した学生の皆さん

ATMでの住所・電話番号変更機能の追加

ATMでの住所・電話番号変更が可能になりました。鹿児島銀行は今後も、お客様の利便性向上に向けた取り組みに努めてまいります。

カンタン！

簡単操作で
受付できる！

スピーディ！

最短2分程度で
受付でき、
とても早い！

ベンリ！

窓口終了後や
土日祝も受付でき、
大変便利！

◆対象のお客様◆

鹿児島銀行のキャッシュカード（普通預金、貯蓄預金）をお持ちの個人・個人事業主のお客様 ※他の諸届（喪失届、改印届等）をお手続き中の場合や、次のお取引のあるお客様は、ご利用の対象外となります。

当座預金、マル優、特別マル優、財形預金、融資取引（個人ローンを除く）、住宅金融支援機構、投資信託特定口座、NISA口座、教育資金贈与専用口座「孫ん貯め」等

◆取扱い時間◆ 各ATMの取扱い時間内

※詳しくは、かぎん窓口へおたずねください。



九州フィナンシャルグループ

親会社株主に帰属する
中間純利益

経常利益 **18,918**百万円

親会社株主に帰属する
中間純利益 **12,731**百万円

営業の概況

九州フィナンシャルグループ (KFG) 連結 (単位: 百万円)

科目	平成29年9月期	前年同期比	平成28年9月期
経常収益	82,465	△4,564	87,030
経常利益	18,918	7,864	11,053
親会社株主に帰属する中間純利益	12,731	5,282	7,449
自己資本比率	12.28%	△0.53%	12.81%

2行単体合算 (肥後銀行・鹿児島銀行) (単位: 百万円)

科目	2行合算		
	平成29年9月期	前年同期比	平成28年9月期
経常収益	69,599	△6,518	76,118
業務粗利益	53,170	△3,778	56,948
うち資金利益	47,062	906	46,155
経費(除く臨時処理分)	36,125	△1,683	37,808
コア業務純益	16,196	1,507	14,689
業務純益	19,180	3,599	15,580
経常利益	21,030	5,102	15,927
中間純利益	14,676	3,866	10,810

(単位: 億円)

総預金残高	83,567	2,303	81,263
貸出金残高	63,000	4,280	58,719
預り資産残高	11,049	614	10,434

(注) 総預金は、預金と譲渡性預金の合算であります。

POINT

平成29年9月期の業績につきましては、経常収益は国債等債券売却益の減少によるその他業務収益の減少等により、前年同期比45億円減少し824億円となりました。

一方、経常費用が貸倒引当金繰入額の減少によるその他経常費用の減少等により前年同期比124億円減少したことから、経常利益は前年同期比78億円増加し189億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比52億円増加し127億円となりました。

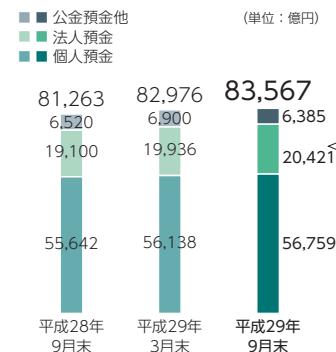
POINT

業務粗利益につきましては、資金利益は増加しましたが、役員取引等利益の減少に加え、国債等債券損益の減少によりその他業務利益も減少したことなどから、前年同期比37億円減少しました。

業務純益につきましては、経費が減少したことと、一般貸倒引当金が戻入益となったことから、前年同期比35億円増加しました。

経常利益につきましては、不良債権処理額の減少及び株式等関係損益の増加等により臨時損益が増加したことから、前年同期比51億円増加しました。また、中間純利益につきましても、前年同期比38億円増加しました。

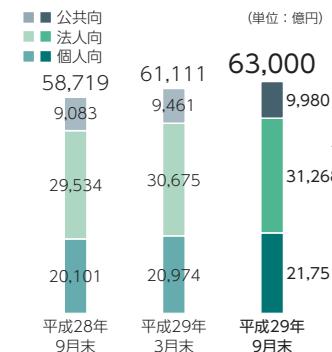
総預金の状況 (2行単体合算)



POINT

総預金につきましては、肥後銀行はやや減少したものの、鹿児島銀行は増加しており、2行合算で、29年3月末比591億円増加(増加率0.7%)し、中間期末残高は8兆3,567億円となりました。

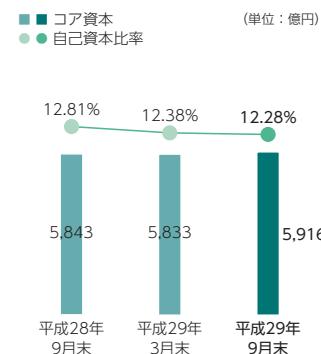
貸出金の状況 (2行単体合算)



POINT

肥後銀行では、各セクター向けの貸出が増加し、鹿児島銀行では法人向け及び個人向け貸出が増加しております。2行合算で、29年3月末比1,888億円増加(増加率3.1%)し、中間期末残高は6兆3,000億円となりました。

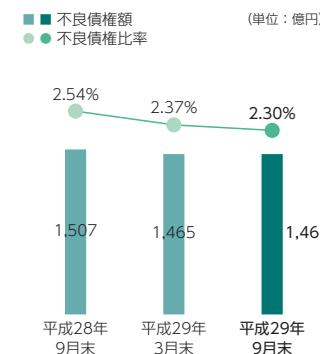
自己資本比率の状況 (KFG連結)



POINT

バーゼルⅢに基づく国内基準により自己資本比率を算出した結果、肥後銀行で11.49%、鹿児島銀行で11.14%、KFG連結ベースで12.28%となりました。比率が低下した理由は、貸出金の増加に伴い分母のリスク・アセットが増加したことによるものです。(KFG連結ベースの自己資本比率は、経営統合時の会計処理において、鹿児島銀行の有価証券評価差額金等が「負のれん発生益」を通じて自己資本に取り込まれたため同行の自己資本比率より上昇しております。)

金融再生法開示債権の状況 (2行単体合算)



POINT

肥後銀行で665億円、鹿児島銀行で800億円、2行合算で29年3月末比横ばいの、1,465億円となりました。金融再生法開示債権の総与信に占める割合、いわゆる不良債権比率は、肥後銀行で2.06%、鹿児島銀行で2.56%、2行合算で29年3月末比0.07%改善し、2.30%となりました。分子の不良債権額は横ばいとなりましたが、分母の総与信増加の影響が大きく、比率は改善しております。

※部分直接償却は実施しておりません。

長期格付 (平成29年9月末現在)





経常利益
11,336百万円

中間純利益
7,786百万円

損益の状況

(単位：百万円)

科目	平成29年9月期	前年同期比	平成28年9月期
経常収益	36,761	△2,821	39,582
業務粗利益	27,865	△1,915	29,780
経費	19,092	△1,089	20,181
コア業務純益	7,207	1,006	6,200
業務純益	9,689	170	9,518
経常利益	11,336	4,004	7,332
中間純利益	7,786	2,608	5,178

POINT

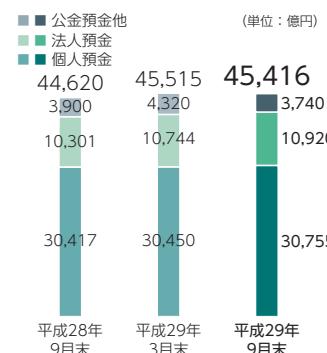
肥後銀行では、経常収益は2期連続の減収、経常利益は2期ぶりの増益、中間純利益も2期ぶりの増益となりました。

業務粗利益は、資金利益は増加したものの、役務取引等利益の減少に加え、国債等債券損益の減少を主因としたその他業務利益の減少により、19億円減少しました。

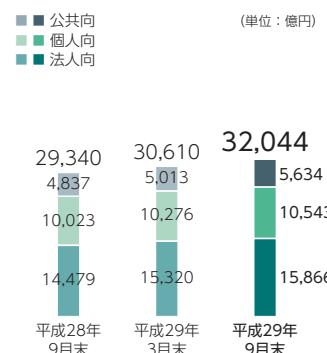
業務純益は、経費の減少に加え、一般貸倒引当金が戻入となったことから、業務粗利益の減少をカバーし、前年同期比1億円増加しました。

経常利益は、前年中間期に発生した熊本地震による影響がなくなり不良債権処理額が減少した他、株式等関係損益の増加等により臨時損益が38億円改善したため、前年同期比40億円増加し、113億円、中間純利益は、前年同期比26億円増加し、77億円となりました。

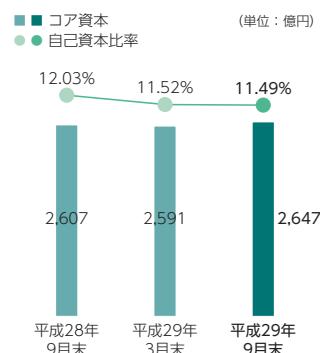
総預金の状況



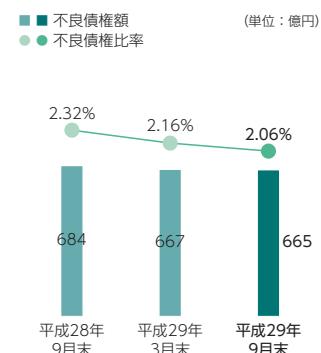
貸出金の状況



自己資本比率の状況



金融再生法開示債権の状況



※部分直接償却は実施しておりません。



経常利益
9,693百万円

中間純利益
6,890百万円

損益の状況

(単位：百万円)

科目	平成29年9月期	前年同期比	平成28年9月期
経常収益	32,837	△3,697	36,535
業務粗利益	25,305	△1,862	27,168
経費	17,032	△593	17,626
コア業務純益	8,989	500	8,489
業務純益	9,491	3,429	6,061
経常利益	9,693	1,097	8,595
中間純利益	6,890	1,258	5,631

POINT

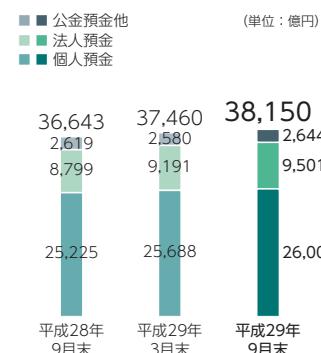
鹿児島銀行では、経常収益は3期ぶりの減収、経常利益は2期ぶりの増益、中間純利益も2期ぶりの増益となりました。

業務粗利益は、資金利益は増加したものの、役務取引等利益の減少に加え、国債等債券損益の減少を主因としたその他業務利益の減少により、前年同期比18億円減少しました。

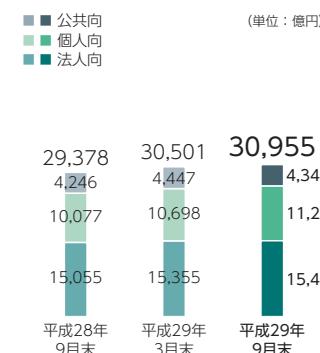
業務純益は、経費の減少に加え、一般貸倒引当金が戻入となったことから、業務粗利益の減少をカバーし前年同期比34億円増加しました。

経常利益は、株式等関係損益の減少等により臨時損益が23億円減少しましたが、業務純益の増加により、前年同期比10億円増加し、96億円、中間純利益は、前年同期比12億円増加し、68億円となりました。

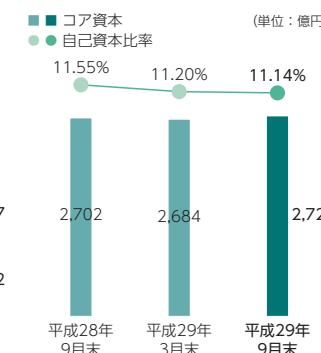
総預金の状況



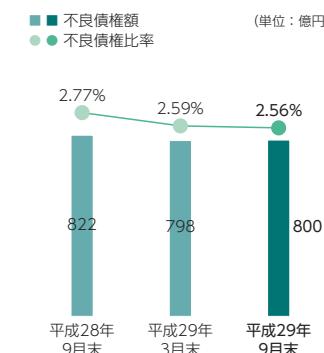
貸出金の状況



自己資本比率の状況

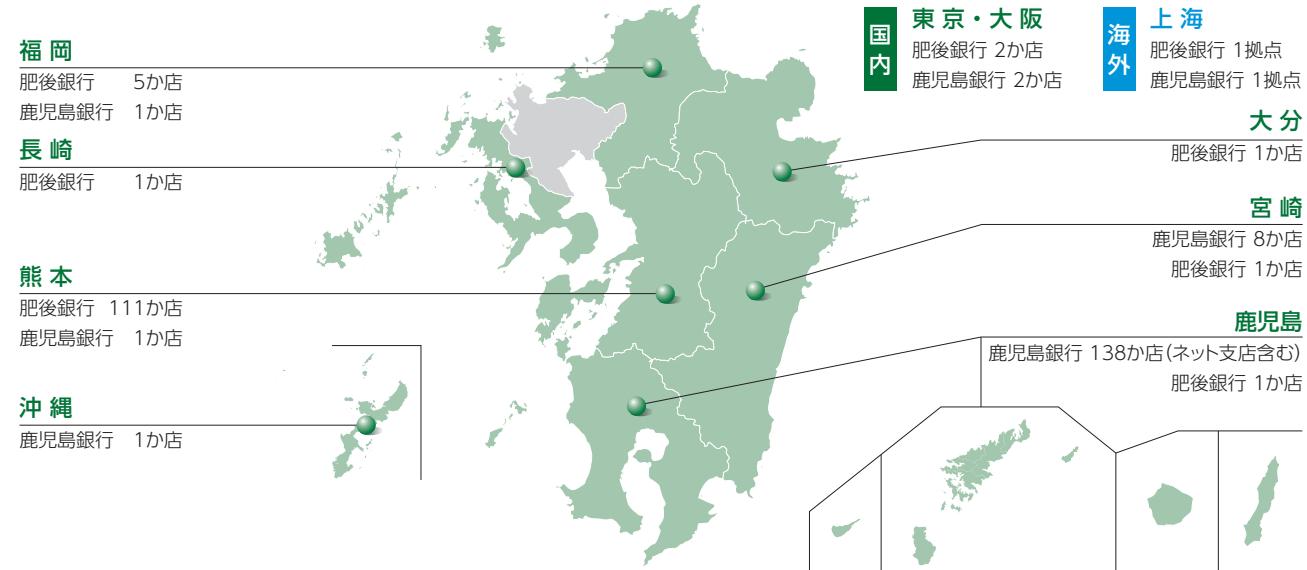


金融再生法開示債権の状況



※部分直接償却は実施しておりません。

九州フィナンシャルグループのネットワーク (平成29年9月末現在)



ホームページのご案内

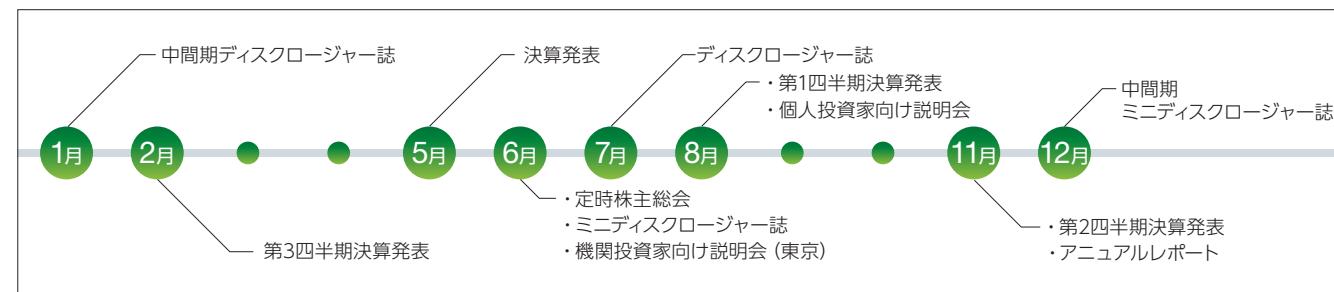
最新IR情報やニュースリリース等はホームページからご覧いただけます。

九州フィナンシャルグループ

<https://www.kyushu-fg.co.jp/>



IRカレンダー



株主の皆様へ

株式数および株主数 (平成29年9月30日現在)

発行済株式総数(普通株式)	463,375,978株
株主数	16,726名

平成29年9月期の
配当について

1株あたり配当金



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎事業年度が終了した日の翌日から3か月以内に開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (https://www.kyushu-fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、熊本日日新聞および南日本新聞ならびに日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットプース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券株式会社では取次のみとなります)	

※ 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

上場株式配当等の
支払に関する
通知書について

支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。



Kyushu FG

平成30年1月22日開業*予定

九州FG証券

これからを、あなたのとなりで。

「貯蓄から資産形成へ」と金融資産を取り巻く環境が大きく変わる中、
多様化するお客様の資産運用ニーズにワンストップでお応えするため、

九州フィナンシャルグループに新たな仲間が加わります。

九州 FG 証券は、『これからを、あなたのとなりで。』をスローガンに、

肥後銀行・鹿児島銀行と連携し、常にお客様に寄り添い、

お客様の期待を超えるサービスを提供いたします。

九州FG証券

熊本支店

(肥後銀行 本店内)

鹿児島支店

(鹿児島銀行 高見馬場支店内)

宮崎支店

(鹿児島銀行 宮崎支店内)

株式会社九州フィナンシャルグループ TEL : 096-326-5588

本部所在地：熊本県熊本市中央区紺屋町1丁目13-5